

札幌生ごみリサイクルセンター

事業名	札幌生ごみリサイクルセンター		施設設置場所															
事業主体	三造有機リサイクル株式会社		札幌市															
1 事業概要	(1) 全体概要	【事業内容】 事業系一般廃棄物のうち、学校、ホテル、食品工場等から排出される、比較的夾雑物が少なく良質な生ごみについて油温減圧脱水方式による飼料化事業を実施。  【事業実施計画】 平成10年1月：事業開始 平成12年4月：飼料安全法に基づく数値認定を取得，飼料配合材料の生産・販売を本格化																
	(2) 変換対象物	<table><tr><td>種類</td><td>量</td></tr><tr><td>1. 事業系生ゴミ</td><td>50t/日</td></tr><tr><td>2.</td><td></td></tr><tr><td>3.</td><td></td></tr><tr><td>4.</td><td></td></tr><tr><td>5.</td><td></td></tr><tr><td>小計（飼料化）</td><td>50t/日</td></tr></table>	種類	量	1. 事業系生ゴミ	50t/日	2.		3.		4.		5.		小計（飼料化）	50t/日		
		種類	量															
		1. 事業系生ゴミ	50t/日															
		2.																
3.																		
4.																		
5.																		
小計（飼料化）	50t/日																	
<table><tr><td>種類</td><td>該当対象物の集荷エリア</td></tr><tr><td>1. 事業系生ゴミ</td><td>札幌市内の給食・外食・食品製造業等234事業所</td></tr><tr><td>2.</td><td></td></tr><tr><td>3.</td><td></td></tr><tr><td>4.</td><td></td></tr><tr><td>5.</td><td></td></tr></table>	種類	該当対象物の集荷エリア	1. 事業系生ゴミ	札幌市内の給食・外食・食品製造業等234事業所	2.		3.		4.		5.							
種類	該当対象物の集荷エリア																	
1. 事業系生ゴミ	札幌市内の給食・外食・食品製造業等234事業所																	
2.																		
3.																		
4.																		
5.																		
計画規模		第1期： 食品廃棄物 35t/日	第2期： 50t/日（H11～）															
(3) 変換プロセス	【基本変換技術】 飼料化：油温減圧式乾燥システムで、生ごみと食用油を混合して加熱し、減圧下の約100℃にて短時間で脱水・乾燥する。																	
	【構成・要素技術】 構成機器：前処理（破碎）、油温減圧式乾燥装置、油分分離装置、製品粉砕機、脱臭施設、排水処理施設等 要素技術：クッカー内では、減圧下、攪拌しながら加熱する事により、混合された油が熱媒体として有効に働くため、低温かつ短時間で効率的に水分が除去される。このため原料が持つ水溶性蛋白質成分が溶出することなく製品に残り、高品質な飼料が生産される																	
	【技術の熟成度】																	
(4) 事業の枠組み	【施設整備事業費とその財源】 施設建設費：10億円（建屋、公害防止付帯設備含む） 財 源：全額事業主体が負担（補助金なし） 土地はリサイクル団地内の区画を賃借																	
	【総事業費とその費用構成】 約10.5億円（運搬機材含む）																	
	【事業収支構造】 事業収入：（処理手数料）15,000 t/年 × 10,000円 / t = 1億5,000万円 / 年 （販売収入） 3,000 t/年 × 15,000円 / t = 4,500万円 / 年 事業支出：（運転費） 15,000 t/年 × 7,000円 / t = 1億500万円 / 年 内訳：人件費2,000円 / t、光熱水費4,000円 / t、その他1,000円 / t																	
	【事業収支】																	

